



2 学年便り

令和 5 年 5 月 3 0 日 5 月号

大和市立下福田中学校

文責 2 学年主任

晴天の中、体育祭が行われました。お忙しい中、ご参観、応援ありがとうございました。多くの生徒が達成感を得たようで、その様子が作文からもうかがえました。



体育祭を終えて、応援している人がマナーを守って応援していて、すごくいいと思った。1 年生の時は応援マナーが少し悪かった。(1 部の人) けど、2 年生ではマナーがよくできていてよかったと思った。学年種目をやってみて、予行練習では 1 位で、少しみんな調子に乗っちゃって、練習では緩く練習をしていたから、体育祭でボール運びですごく凡ミスとかをしていたり、大縄では縄に引っかかったりして 2 位だったけど、楽しかったからよかったと思いました。ヨサコイでは楽しく踊って、すごく体育祭がたのしかった。



今回の体育祭で学んだことは、敵は敵でも仲間ということです。そう思ったわけは自分たちのチームは今回残念ながら最下位で、2年生の学年種目でも悔しい思いをしたが、自分たちが競技を続けているときに横から「ファイト!」「がんばれー!」などと応援をしてくれたところから、敵でも同じ目標を目指している仲間なんだなと思いました。これは体育祭だけでなく、スポーツなどでも同じことがいえると思います。大会で対戦相手から「次も勝てよ」などと言われた時も同じことがいえると思いました。同じ目標を持つというのは、仲間になる最初の1歩目なのかもしれません。



今回の体育祭を終えて、何事も全力でやるほうがいいと感じた。僕は委員会の準備もめんどくさいし、予行練習もかなりの点数差で負けて本番絶対勝てないと思っていたが、1年と3年、友達が全力で種目に取り組む姿を見ていつの間にか自分も全力でやっていた。予行練習で70点差も付いたが、本番は3位だったが10点差まで縮められてうれしかったです。

予行練習は圧倒的勝利という感じだったが、本番では2位という微妙な立ち位置になってしまった。勝ち負けにこだわらないような順位だと思う。というか、そもそも順位によってポイントを振り分け、1番ポイントが高いと1位というルールにしているのが間違いだと思う。勝ち負けにこだわると問題が起き、困る人が現れるという理由でこだわるのはやめようといっているのだと思うが、ポイントを掲示したら本末転倒だろうと思う。と言ったとしても生徒を取るか行事を取るかは先生が判断することなので、とにかく言うのはこの紙面以外ではやめておく。学年種目の敗因としては「薄すぎる戦略」と「傲慢」だと思う。が、危機を感じた時の人間の団結力はすごいと思う。このことから、202の強みと弱みがわかったことは、これからいろいろな行事で使えると思う。





5月24日水曜日の体育祭を終えて思ったことは、もっと全力を出したかったということです。自分は今回の体育祭で出場したのは、学年種目、学年リレー、玉入れ、YOSAKOIなどで、学年種目ではボール運び？を全力でやればギリギリ勝っていたかもしれないし、リレーでは1位を抜いていれば1位でアンカーがゴールしていたかもしれない。でも、玉入れは自分だけでなく青組全員で協力すれば最下位ではなかったかもしれないけど、皆で協力して体育祭を楽しめてよかったと思う。びりだったのは少し悔しかったけれど、予行練習よりはポイントも高くなったし、2位とのポイントも僅差だったので青組の人たちが全力を出せた証拠だと思いました。今回の体育祭は去年と比べて新型コロナウイルスも収まっていけなかったことができるようになって、マスク着用なしでとかで去年よりは楽しめたと思う。中学生になって初めてリレーに出てみて、歓声とかでめっちゃめっちゃ緊張したけど、チームの足を引っ張らずに走れたと思う。次の体育祭で中学最後になるので後悔なくチームと協力して暴れ散らかしたいと思った。





競技中、他の学年の人たちが応援していて、自分がやってなくても応援したりするのは頑張ろうという気持ちになるからこういうのは大事なんだと思った。結果は2位になったけど、みんなで協力して助け合ったから「悔しい」や文句を言ったりはしなかった。来年は3年生で最高学年になるから、これからは学年が違って一緒に協力して支えあっていきたい。そんなに運動が大好きというわけではないけれど、一緒に大玉を運んだり、玉入れで球が入ったりしたときはとても楽しかった。



保護者よりの一言

感想をお願いします。

生徒氏名（

）